



土木環境プログラム 教授 村上 啓介

出身：千葉県市原市
趣味：ジョギング
講義：水理学I, 沿岸環境防災工学,
海岸環境工学特論, 他
専門：海岸工学, 防災工学

ひとこと

土木工学は私たちの生活の基盤を支える技術分野。
人々の生活の安全や安心を支えるエンジニアになろう。

研究内容

津波や高潮、高波による災害から沿岸域を守るための技術開発

▶ 日本は四方を海に囲まれ人口や資産のほとんどが低平地の沿岸域に集中しています。**津波や高潮、高波による災害に対して脆弱**な国土環境において、**安全で安心な私たちの活動空間を確保**するための技術開発を進めています。

海岸侵食から国土を守るための技術開発

▶ 沿岸域や河川流域の開発によって砂浜が失われる現象（海岸侵食）が進行しています。また、**気候変動にともなう海面上昇**によって海岸侵食は更に加速し、砂浜の消失が深刻化する危機にあります。**自然豊かな砂浜を保全するためのモニタリング技術や対策技術**の開発を進めています。



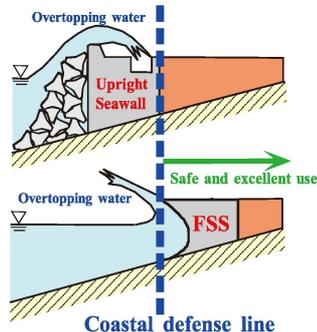
砂浜が侵食されて埋設管が露出（宮崎海岸）



浜崖の後退を抑止するための対策技術（サンドバック）

この研究はどう役立つ？ 研究から学べることは？

- ▶ 津波や高潮、高波によって引き起こされる現象は複雑な流体運動として取り扱われます。実験や数値シミュレーションを活用した研究を通じて沿岸域で生じている流体運動の理解を身につけるとともに、その研究成果は**安全で安心な沿岸域を確保するために役立ちます**。
- ▶ 砂浜の地形は、波浪の影響を受けて日々変化するとともに、河口付近では河川の流れも影響する複雑な土砂移動現象として取り扱われます。現地調査やデータ解析を活用した研究を通じて沿岸域で生じている土砂移動現象の理解を身につけるとともに、その研究成果は**自然豊かな砂浜の保全に役立ちます**。



従来よりも小さな構造断面で越波を阻止する護岸の開発



実験による性能評価



現地での施工事例